朋栄「FOR-A IMPULSE」

25年からプラットフォームを提供

ソフトウエア定義で柔軟なワークフロー

機能統合型のライブ制作システム

朋栄は「Inter BEE 2024」で、機能統合型ライブ制作ソリューション「FOR-A IMPULSE（朋栄インパルス）」の共通プラットフォームを公開した。

同社は2025年末、このプラットフォームを活用した制作環境を、放送局内におけるオンプレミスモデルから提供する。クラウドモデルやオールインワンモデルも順次提供する。

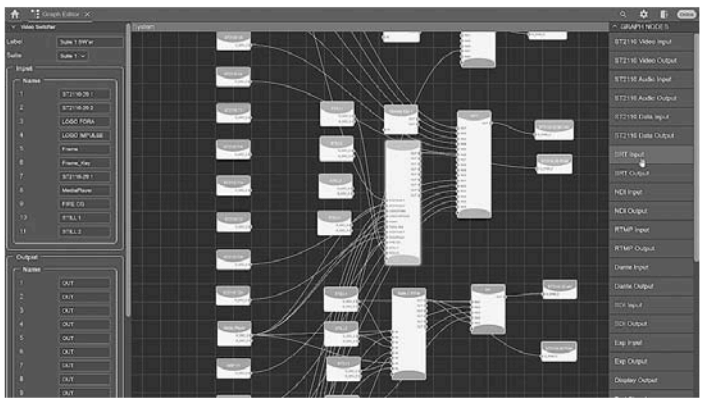
IMPULSEは各種機器の機能をソフトウエア化し、その機能をノードとして共通プラットフォームに集約する。ノードを組み合わせてパイプラインを構成することで、映像を処理する。

運用に合わせた柔軟で自由度の高いワークフローを構築でき、周辺システムを集約することによる効率化を可能にする。

ノードは「グラフエディター」を使って自由に配置が可能で、それぞれをつなぎ合わせることでパイプラインを直感的に構成する。スイッチャーノード向けには「シーンエディター」を提供する。これにより、最終出力画面を確認し、直接マウスで選択しながらレイヤー構成や画面構成を設定する。

操作はウェブブラウザーで実行し、Media over IPシステムとの連携ができる。

映像制作現場では現在、多様化するコンテンツ視聴形態への対応と、省力化や制作効率の改善が求められており、朋栄は同システムで映像制作におけるDXを可能にする環境を提供していく。



FOR-A IMPULSEのGUI（Graph Editor）

アストロデザイン

シリコンコア製品を販売

135型可搬型ディスプレーから

アストロデザインは、シリコンコア・テクノロジーの135型モバイルAIO（All In One）ディスプレーについて、日本国内における販売代理店業務を開始した。

シリコンコア・テクノロジーは、1997年に米シリコンバレーで創業したSCT（Siliconfore Technology）グループの日本法人。アナログ半導体技術（LEDドライバーIC）を基にデジタルサイネージ製品を開発し、米国、欧州ならびに日本、中国、台湾といったアジア各国に展開する。

本年発売したモバイルAIOディスプレーは折り畳み式。1・25ミリの高精細ディスプレーでありながら、可搬性を備えた柔軟なプレゼンテーションソリューション。電動昇降や可搬ができ、部屋間あるいはオフィスエレベーターでの移動に対応する。

解像度は2400×1350、輝度1200nits、1・25ミリピッチLEDを採用した。

平均消費電力は800ワット以下（100ボルト駆動へも対応）、最大消費電力2150ワット。フレームレートは50／60／100／120ヘルツ。3Dをサポートする。オプションでHFR240ヘルツに対応する。

135型モバイル AIOディスプレー

ソニー

α1の第2世代を発売

AIによる最新AF機能

ソニーはフルサイズミラーレス一眼カメラ『α1 II』を発売した。5010万画素の高解像と、ブラックアウトフリーでのAF／AE追従の最高30コマ／秒の高速連写、歪みを抑えた撮影を実現するアンチディストーションシャッター、AIを活用した最新の被写体認識AF（オートフォーカス）機能など、先端の技術を搭載したフラッグシップモデル。

2021年に発売し、プロフォトグラファーから高い評価と信頼を得てきた「α1」の第二世代。使い手の声を聞きニーズに応えて進化した。

最新のAIプロセッシングユニットを搭載したことで、多種類の被写体を高精度に認識し、対象が人や動物、鳥などの場合は瞬時に瞳にフォーカスを合わせる。最大1秒前までさかのぼって撮影できるプリ撮影機能や高速ワークフローに応える接続性を備える。

α1 II（FE24-70mm F2.8 GM II装着）

銀座十字屋ディリゲント事業部が発売

CFexpress Type Aカード

ソニーFX3やα1などに対応

エンジェルバードのプロ用大容量製品

銀座十字屋ディリゲント事業部は、オーストリア・エンジェルバード社のCFexpress Type Aカードの新製品「AV PRO CFexpress A」の販売を開始した。

ラインアップは256ギガバイト、512ギガバイト、1テラバイトまでの3種類。持続書き込み速度は800メガバイト／秒、安定した動画記録を保証するVPG400に準拠する。

α1やα7、α9、FX3などソニーのCFexpress Type A対応カメラでの使用を想定した製品。対応カメラの全機能と記録要件をサポートする。今年10月に発売した同SEモデルと比較すると転送速度は2倍。最大1テラバイトの大容量記録ができ最新のCFexpress4・0規格に対応する。

同製品は、また、エンジェルバード製品の主要ユーザーであるプロフェッショナル向けに高い性能と耐久性を担保するため、すべての容量モデルにおいて100％のオーバープロビジョニング（OP）を採用した。

OPはフラッシュメモリーの一部を見えない領域として確保し、メモリーコントローラーが効率的にデータを管理し、性能と耐久性を向上させる技術。同製品は100％のOPを採用するためすべての容量モデルは実質2倍の物理容量を持つ。

これによってメモリーセルの劣化を抑え、長期間にわたり高い性能を維持し、安定したパフォーマンスとデータの信頼性向上にもつながる。

販売は同社直販サイトおよびアマゾン。3万1980円から。

AV PRO CFexpress A

venera
QCツールといえば、Veneraの Pulsar（ベネラ パルサー）
納品ファイルのさまざまなトラブルを未然に防ぎます!!
Netflix, AWS Amazon Prime 認定QCツール
用途に合わせた3モデルをラインアップ
Professional　4ファイル同時解析のフラッグシップモデル
Standard　1ファイル解析の標準モデル
Basic　基本機能にフォーカスしたエントリーモデル
Pulsarが選ばれるわけ
● 国内ユーザーのご要望に対応した機能を多数搭載
● RDD9解析テンプレート標準搭載
● 業界標準のハーディング解析機能（オプション）
● CMオンライン入稿レイアウトチェック機能
● モスキートノイズ検出機能
● ウォッチフォルダ機能
ITOCHU 伊藤忠ケーブルシステム株式会社
〒141-0022 東京都品川区東五反田3-20-14 高輪パークタワー　TEL.03-6277-1824
Pulsarの優れた機能をすべて試せるデモライセンスのご要望は、下記URLかQRコード、お電話よりお申し込みください。
https://itochu-cable-systems.jp/inquiry/　Tel. 03-6277-1824